

授業科目 リハビリテーション論	区分・教育内容 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度		
授業担当者 小貫 渉 工藤 郁美 伊藤 紀子 吉田智恵美 (以上 中通リハビリテーション病院)	開講時期 前期～中期	単位 1 単位	時間数 30 時間
授業の目的 社会復帰を目指す障害者に対する援助の方法を学ぶ。			
授業の目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害とノーマライゼーションの概念を理解する。 2. リハビリテーションの対象となる疾患・症状を理解する。 3. 病院におけるリハビリテーションについて理解する。 			
授業概要 障害を持った人々が、社会復帰を目標に治療（リハビリテーション）を進める過程において、医療従事者が行うべき援助と、各専門職の役割について理解を深める。			
授業計画(進め方) <ol style="list-style-type: none"> 1 回目 リハビリテーションとは 2・3 回目 脳血管障害の病態生理と解剖 4 回目 運動障害と高次脳機能障害について 5～15 回目 嚥下障害について <ul style="list-style-type: none"> 理学療法（PT）について 作業療法（OT）について 言語療法（ST）について 			
テキスト 中西純子他編 成人看護学 リハビリテーション看護論 第2版 ニューヴェルヒロカワ			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験			